

7/10 朝(2)

「母入信 献金で生活」

容疑者の親族が証言



安倍晋三元首相(67)が銃撃され殺害された事件で、殺人未遂容疑で奈良県警に現行犯逮捕された無職、山上徹也容疑者(41)が奈良市大畠町3丁目11の親族が朝日新聞の取材に応じ、「山上容疑者は子どもの頃から、母親が入信していた基督教団をめぐつて苦労していた」と話しました。

▼1面参照
捜査関係者によると、山上容疑者は逮捕後の調べに

この宗教団体の名を挙げ、「恨む気持ちがあった」と

説明。その上で、「安倍元

首相が(その団体と)近い

ので狙った」という趣旨の

供述をしているところ。

取材に応じたのは、山上

容疑者の親族で、大阪府内

に住む70代の男性。男性に

よる、山上容疑者は建設

会社を営む父と母の次男と

して生まれ、兄と妹を含め

た5人で生活していた。

山上容疑者が幼い頃に父

が急死し、母が会社を引き継いだ。母は宗教団体の活

動に熱心になり、多額の金

を納めるようになったとい

う。

「夫に先立たれ、将来

に不安を抱えていたので

は」と男性は振り返る。

やがて、3人の夫ようだ

いから男性宅に、「家に食

べるものがない」などと電

話が入るようになつた。男

性が生活費などを3人に渡

すようになり、食事を届け

た」ともあつたといふ。

山上容疑者は進学校とし

て知られる奈良県内の県立

高校で学んだ。その後、専

門学校に進み、2002年

に海上自衛隊に入隊した。

うが、半年ほどすると作業

手順を守らなくなつた。今

年3月とは、作業のルール

いたからでは」と語る。
捜査関係者によると、2002年に母は奈良地裁から破産宣告を受けた。母の建設会社は09年に解散した。
男性が最後に山上容疑者に会ったのは05年である。男性は、山上容疑者が「恨む気持ちがあった」と供述しているという宗教団体について、「もうと恨みに思つていただけだ。人生を奪えられたと感じている」と語り、と推察した。

山上容疑者は今年5月までは、3人の夫ようだ。山の1年半余り、大阪府内の人材派遣会社に登録し、派遣社員として東京都内の工場で働いていた。この工場の責任者の男性が9日、奈良市内で記者会見した。

山上容疑者はフォークリフトを操作し、荷物の上げ下ろし作業を担当していた。当初は「おとなしかった」と語るが、半年ほどすると作業

を怠るよう注意をした同僚と口論になつたといふ。この後、無断欠勤が増えた。山上容疑者が同僚と雑談をする」とはほとんどなかつたといふ。男性は「特に優秀というわけではなく、とにかく不思ひないところ田舎で起きた」と語った。

(鈴木聰、田嶋由里子)